

製品名: リボソームタンパク質 L15 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab17148

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	20kDa

抗原情報

遺伝子名	RPL15
別名	RPL15; EC45; TCBAPO781; 60S ribosomal protein L15
遺伝子 ID	6138.0
SwissProt ID	P61313
免疫原	抗血清はヒト RPL15 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 41-90

背景

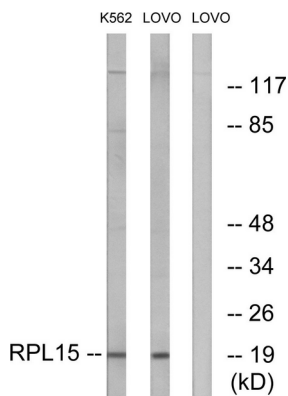
リボソームは、タンパク質合成を触媒する細胞小器官で、小さな 40S サブユニットと大きな 60S サブユニットから構成されています。これらのサブユニットは合わせて 4 種類の RNA と約 80 種類の構造的に異なるタンパク質で構成されています。この遺伝子は、6

OS サブユニットの構成要素であるリボソームタンパク質をコードしています。このタンパク質は、リボソームタンパク質の L15E ファミリーに属しています。細胞質内にあります。この遺伝子は、酵母リボソームタンパク質 YL10 遺伝子と配列相同性があります。この遺伝子は RPL10 と呼ばれていますが、正式名称は RPL15 です。この遺伝子は、一部の食道腫瘍において、対応する正常組織と比較して過剰発現していることが示されています。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。リボソームタンパク質をコードする遺伝子によくあることですが、この遺伝子の複数の処理済み擬遺伝子がゲノム中に散在しています。 [RefSeq 提供、2011年11月],類似性:リボソームタンパク質 L15e ファミリーに属します。、

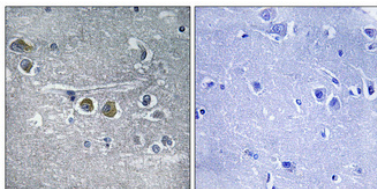
研究分野

リボソーム;

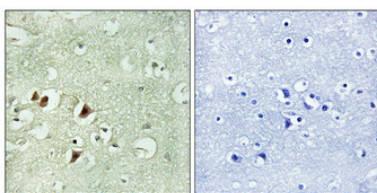
画像データ



RPL15 抗体を用いた LOVO 細胞および K562 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。